

特別賞

広島市道路交通局

広島南道路（太田川放水路渡河部）

都市名	広島県広島市	事業主体	広島市
<p>事業概要</p> <p>広島南道路は広島県安芸郡海田町から廿日市市までの総延長約23.3kmの都市計画道路であり、広島都市圏における自動車専用道路のネットワークの一部を構成し、国道2号の渋滞緩和や臨海部における円滑な交通処理を担う主要幹線道路である。このうち、太田川放水路渡河部の区間については、橋長412mの6径間連続鋼・コンクリート複合アーチ橋として、広島市が太田川大橋として整備を行ったものである。</p> <p>当該路線は、広島南道路に並行する霞庚午線^{かすみごせん}で慢性的な渋滞が発生していたことから、交通の分散化が求められていた。本事業により、開通6か月後の太田川大橋の交通量は27,300台/日であり、広島南道路に並行する霞庚午線の交通量は15,800台/日減少し、交通混雑が緩和され、日の出町交差点から廿日市IC区間のアクセスが大幅に向上するなどの事業効果が発揮された。</p> <p>○事業延長：1.3km ○事業費：約151億円</p> <p>○幅員：19m ○事業期間：平成19年度～平成25年度</p>			
<p>表彰理由</p> <p>太田川大橋が開通したことで、臨海部における自動車専用道路ネットワークを形成し、接続する広島高速3号線と一体となり、交通渋滞の緩和や物流の円滑化といった利便性、経済性の向上に寄与したことが高く評価された。</p> <p>また橋梁デザインにおいても、橋の上流側から眺めた際に、巖島が引き立つようにアーチライズを押さえた構造を採用するなど、景観に配慮した点も評価された。</p>			

